

応募申請書案

2026年5月10日締切分

申請書に記載すべき事項 注意事項	応募申請書記載例他
申請者氏名 (生年月日) 必ず、生年月日（西暦）と第2チャレンジ参加年度を記載すること。選考委員会で確認します。	JPhO 太郎 (生年月日) 2020年度第2チャレンジ参加
申請者の連絡先住所 E-mail	
所属	○○大学大学院理学研究科修士課程2年 (2026年9月1日現在)
渡航先国名 あるいは 地域名、期間	
参加する集会名あるいは会議のプログラム名	
集会等での講演の有無 講演予定の場合、 講演予定者名、講演タイトルを記載してください。 また、口頭発表あるいはポスター発表の別を記載すること。	講演予定有 (口頭発表) 講演予定の場合、 講演予定者名、講演タイトルを記載してください。 また、口頭発表あるいはポスター発表の別を記載すること。
支援希望金額合計	全額：297,000円
内訳 交通費、宿泊費、 参加登録料の領収書あるいは見積書の コピーを送付すること。 見積書の場合、事後、領収書の提出が必要です。 航空運賃は航空会社、	交通費計：165,000円 航空運賃 156,000円 出発地から国際空港までの往復交通費：3,000円 国際空港から滞在地までの往復交通費：6,000円 (40US\$) 宿泊費、参加登録費の計：132,000円 宿泊費 72,000円 (12,000円×6) 参加登録料 60,000円 (400 US\$)

購入期日により大きく異なります。できるだけ廉価になるようにすること。	
学会での発表歴 発表歴がない場合は、この行を省略してよい。	
発表論文 発表論文が有る場合、発表者名、論文タイトル、雑誌名、号数、ページ数を記載。 また、査読付き雑誌に掲載された論文1篇を添付すること。 発表論文が無い場合、この行を省略してよい。	
指導教員 指導教員による推薦書は、申請書等提出先に送付してもらうこと。	○○大学・教授 E-mail アドレス
本申請の必要性 申請者にとって本申請の必要性を、右欄の検討項目A、B、C、Dについて、できるだけ具体的に記入してください (1000字以内)。 必要なファイルがあれば、本項目内に明示して送付すること。	<p>検討項目 A、B、C、D :</p> <p>A 申請者が専門性を向上させるために、研究・集会等に参加することの意義</p> <p>B 参加する研究・集会等の学術的意義</p> <p>C 参加する研究・集会等に対する申請者本人の取り組み・貢献度</p> <p>D 支援希望額の妥当性</p> <p>自身の研究費等を持っている申請者は、この支援を必要とする理由を記入してください。</p>
申請者によるコメント	